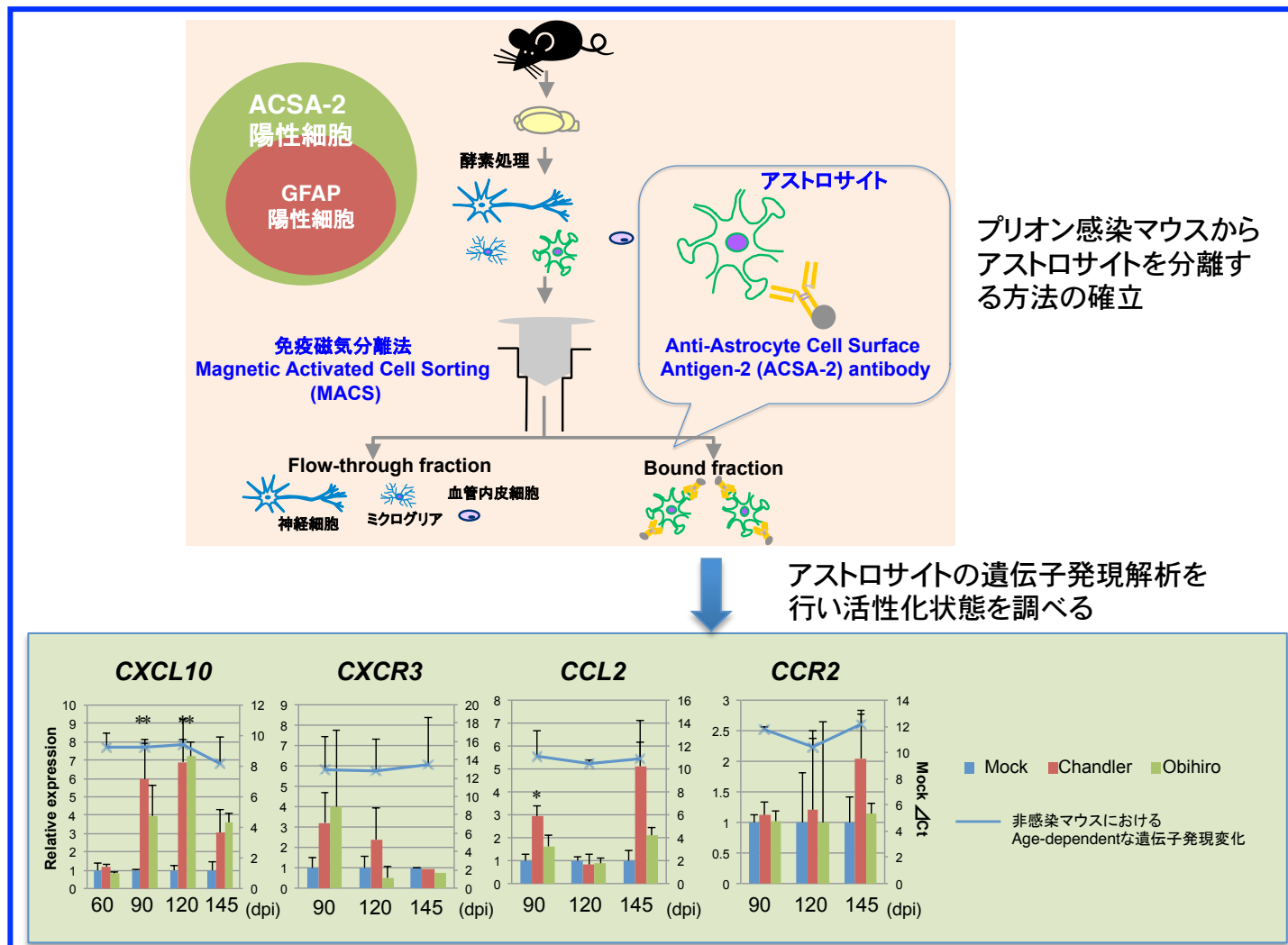


プリオン感染マウスのアストロサイト活性化状態の解明

研究分担者：北海道大学大学院獣医学研究科 堀内基広



解 説

1. 抗Astrocyte Cell Surface Antigen (ACSA-2)抗体を用いる免疫磁気分離法を用いて、プリオン感染マウスの脳からアストロサイトの簡便な分離方法を確立した。
2. 神経栄養因子、サイトカイン、およびケモカイン等11遺伝子の発現を調べたところ、CXCL10ケモカイン遺伝子の発現が、病態進行の過程で一過性に上昇することを発見した。